

令和3年度

施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館
----------	-----------

番号	28
----	----

令和3年度

施設評価調書

施設の名称……本郷公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

令和3年7月

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第20条の目的を達成するため 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	R元年度	R2年度目標値	R2年度実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	236人	240人	211人	89.40%	87.92%	B
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	2,249人	2,500人	1,286人	57.18%	57.18%	D
設置目的に対する総合評価						C
目的達成度の 評価基準	① 参加者数×実施数（複数講座がある場合は全講座の合計） ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	① 市の厳しい財政状況の中、限られた予算で館長に公民館講座を企画していただき、運営している。昨年度より、参加者が25名減少している。 ② 公民館の総利用者数については、前年度比で963人の減少となっている。
上記の原因	① 公民館講座については、継続講座の1講座を開講し、平年並みである。 ② 市内の人口減少や高齢化も進行している中で、公民館の利用者に高齢者が多く、一定数の需要がある。新型コロナウイルスの影響により、4月5月に臨時休館があったため、利用者数が減少した。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	①、② 令和3年度に廃止・解体のため、改善方策等なし。		
R3年度運営 事業と目標値	運営事業名	R3年度目標値	備 考
	① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	—	令和3年度に廃止・解体のため目標値なし。
	② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	—	令和3年度に廃止・解体のため目標値なし。

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
総合評価	A	B	B	A	A	B	C
① 公民館活動推進 事業 (講座企画運営事業)	A	A	A	B	A	B	B
	288人	321人	348人	298人	324人	294人	236人
② 公民館活動推進 事業 (会議室貸出事業)	A	B	B	A	A	B	D
	2,287人	2,111人	2,087人	2,589人	2,809人	2,797人	2,249人

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		R元年度値	R2年目標値	R2年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	2,249 人	2,500 人	1,286 人	57.18%	51.44%
	B 年間経費 (除く収入) 経費+市職人件費	1,476,932 円	1,625,000 円	1,377,215 円	93.25%	117.99%
	B/A	657 円/人	650 円/人	1071 円/人	163.01%	60.69%
① 光熱水費		443,513 円	421,000 円	414,221 円	93.40%	101.64%
② 消耗品費		19,980 円	20,000 円	20,593 円	103.07%	97.12%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）＊1/40 人工				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	施設総利用者数は前年度比で 963 名減少した。光熱水費や消耗品等の経費は平年並みである。 利用者数の減少により一人当たりの経費が増加した。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	令和3年度に廃止・解体のため、改善方策等なし。		
R3年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	— 円/人	—
	②光熱水費	— 円	—
	③消耗品費	— 円	—

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度決算	R 元年度決算
①利用単位当 り経費	目標値（人）	2,120 人	2,560 人	2,600 人	2,800 人	3,000 人
	A 実績値	2,087 人	2,046 人	2,809 人	2,797 人	2,249 人
	B 実績値	1,540,741 円	1,469,646 円	1,414,673 円	1,414,203 円	1,476,932 円
	B/A	738 円/人	718 円/人	504 円/人	506 円/人	657 円/人
	対前年比（B/A）	101.23%	104.82%	93.68%	100.40%	129.84%
	目標達成率（人）	98.44%	79.92%	108.04%	99.89%	74.97%
③ 光熱水費	目標値	529,000 円	486,000 円	391,000 円	462,000 円	426,000 円
	実績値	550,680 円	490,776 円	486,638 円	449,145 円	443,513 円
	対前年比	98.82%	95.88%	118.23%	92.30%	98.75%
	目標達成率	96.06%	100.98%	80.35%	102.86%	96.05%
④ 消耗品費	目標値	10,000 円	16,000 円	16,000 円	21,000 円	20,000 円
	実績値	20,074 円	23,401 円	21,586 円	20,610 円	19,980 円
	対前年比	189.78%	143.17%	130.73%	95.48%	96.94%
	目標達成率	49.82%	146.26%	74.12%	101.89%	100.10%

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分 の年間経費	円	1,424,203	1,476,932	1,377,215
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による 使用料等の年間総額	円	94,880	104,280	90,300
	③受益者負担 比率	②÷①	%	6.71	7.06	6.56
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を 徴収したと仮定した場合 の受益者負担額	円	511,330	479,360	406,340
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	36.16	32.46	29.50

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		21,973	21,492	21,080	20,734
	人口 1 人あ たり(円/人)	運営経費（収入除く）	64	69	65	—
		年間総経費	73	77	75	—

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
R 2	ガス配管撤去	3,100	R 2	
※今後想定される維持管理事項 建物の老朽化・劣化が著しく、修繕では対応が難しい状態にある。				

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	公民館統廃合計画に基づき、地元区との協議を重ねた結果、地元区では譲渡を受けず、令和3年度末をもって廃止する方針となった。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	
施設の管理運営と経費の妥当性	
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	
その他の管理運営上の課題	建物の老朽化・劣化が著しく、市の厳しい財政状況も考慮し、可能な限り必要最低限、使用に耐え得るまでに修繕等を施し運営している状況にある。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	施設の性質上、受益者負担の原則から維持管理費に見合う使用料を見込んだ受益者負担を利用者に求めることは難しい。
	利用者に対する統廃合の進捗状況の説明や、代替施設の案内等、利用者に対する周知が必要である。
	県中東部内では、公民館廃止、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が顕著である。県西部地域は社会教育法による公民館を設置している自治体が多いが、県中東部内で見ると当市は公民館設置が多いといえる。

令和2年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
① 公民館活動推進事業 （講座企画運営事業）	卓球教室1講座で21回、211人の参加があった。	令和3年度に廃止・解体のため、改善事項等なし。
② 公民館活動推進事業 （会議室貸出事業）	205回、1,497人の利用があった。	

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

施 設 の 概 要

1	施設名 (愛称名)	下田市立本郷公民館		2	担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係			
3	所在地	下田市西本郷2丁目13番21号		4	設置年月	昭和43年10月15日			
5	総合計画の 位置付け	基本計画の分野	分野2 子育て・教育						
		施策体系	施策4 生涯学習体制の充実						
6	設置目的	社会教育法第20条の目的を達成するため 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
7	設置根拠	下田市立公民館設置管理条例							
8	施設の概要	施設の概要	敷地面積 513.74 m ² 建物面積 延面積 513.74 m ² 1F 256.87 m ² 2F 256.87 m ² 構造 鉄筋コンクリート2階建						
			1F 和室・管理人室・事務室・調理室・倉庫（2室） 2F 大会議室・男子便所・女子便所・湯沸室						
	実 施 事 業 の 概 要	・公民館講座の実施 ・その他「社会教育法第22条（公民館の事業）」に基づくもの							
	料 金 体 系	料 金 区 分	会議室等使用料 大会議室・和室・調理室						
		主 な 料 金	名 称	午前(9:00～12:00)		昼間(13:00～17:00)		夜間(18:00～21:00)	
				普 通	入場料	普 通	入場料	普 通	入場料
			多目的ホール兼大会議室	2,050 円	4,100 円	2,050 円	4,100 円	3,080 円	6,160 円
			中会議室	1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円
			小会議室	1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円
			和室	1,020 円	2,050 円	1,020 円	2,050 円	2,050 円	4,100 円
調理室	2,050 円	—	2,050 円	—	3,080 円	—			
減免内容	(使用料の免除) 第10条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用する時、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用する時。（全額） (2) 公共的団体の主催で法第20条の目的に基づき住民のために使用する時、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用する時。（全額） (3) 公立小・中学校（市内の公立小・中学校を除く。）若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用する時、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用する時。（5割減額） (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用する時。（3割減額） (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。（3割減額）								
利用料金制度	☐ 有 ☒ 無								
施 設 運 営 方 法	☒ 直接運営								
	☐ 指定管理者制度 →		指定管理者						
	☐ 一部委託 →		委託内容						
直接従事職員	下田市職員数 館長 1名 管理人 1名								
9	市 内 の	下田市所有	他5公民館（社会教育法の規定による施設）						

令和3年度	施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館	番号	28
-------	----------	-----------	----	----

類似施設	民間所有		地区集会所等（自治会管理の地域コミュニティ施設）					
10 取得費等の情報 （単位：円）	取得費及び財源内訳			令和２年度末残高		（備考） 減価償却の方法 ・ 旧定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新築翌年度から償却 ・ 耐用年数 50 年 ・ 建物経過年数 52 年		
	土地取得費			土地残高				
	建物取得費		16,150 千円	建物減価償却後残高	960 千円			
	財源内訳		16,150 千円					
	国・県支出金		1,400 千円					
	市債			市債残高	0 円			
	一般財源							
	寄附金等							
	物品(*万円以上)			物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 （単位：円）	区 分		H30 年度決算	R 元年度決算	R 2 年度決算	R 3 年度予算 （３公民館）		
	収入		94,880	104,280	90,810	1,200,000		
	収 入 合 計		94,880	104,280	90,810	1,200,000		
	支出	1 節 報酬		220,600	216,000	216,000	16,000	
		7 節 賃金		424,700	424,700	424,800	0	
		8 節 報償費		24,000	22,000	21,000	512,000	
		9 節 旅費		2,590	0	0	1,000	
		10 節 需用費		479,877	568,279	459,092	3,842,000	
		消耗品費		20,610	19,980	20,593	342,000	
		印刷製本費		4,986	4,986	4,791	25,000	
		光熱水費		435,105	430,453	414,221	2,802,000	
		下水道費		14,040	13,060	13,200	72,000	
		燃料費		636	3,000	3,187	10,000	
		修繕料		4,500	96,800	3,100	591,000	
		11 節 役務費		40,105	40,731	41,685	311,000	
		12 節 委託料		43,200	44,000	44,000	2,179,000	
		13 節 使用料		0	0	0	388,000	
		14 節 工事請負費		0	0	0	43,100,000	
		17 節 備品購入費		0	0	0	0	
		18 節 負担金		7,800	0	0	0	
		22 節 償還金利子及び割引料		0	0	0	0	
		支 出 合 計		1,242,872	1,315,710	1,206,577	50,249,000	
	支出収入差引（支出-収入）		1,147,992	1,211,430	1,115,767	49,049,000		
	減価償却費		290,700	290,700	291,700	3,259,062		
	市債利子		0	0	0	0		
	職員人件費		171,331	161,222	170,638	181,645		
	下田市負担年間総経費		1,610,023	1,663,352	1,578,105	52,489,707		
	備考	○ 人件費は、１公民館を 1/40 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費＝（職員人件費÷職員数）×1/40 人工×公民館数						
	12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度		H30 年度決算	R 元年度決算	R 2 年度決算	R 3 年度予算 （３公民館）
			利用者数	市 内	2,797 人	2,249 人	1,497 人	31,500 人（見込）
				市 外	人	人	人	人
				合 計	2,797 人	2,249 人	1,497 人	31,500 人（見込）

令和3年度

施設名（愛称名）	下田市立本郷公民館
----------	-----------

番号	28
----	----

		参考：利用単位 当たり市負担額	575.62 円/人	739.60 円/人	1054.18 円/人	1666.34 円/人
		算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数				
	休館日	祝日、12/29 から 1/3 まで				
	使用 時間	午前 9 時から午後 9 時まで				